



発行所 福井県大野郡和泉村 下穴馬 912-02 中竜 912-03

(昭和46年8月1日現在)

Table with population statistics for the village, including birth/death rates, gender distribution, and area (332.60 square km).

今月の目標 今年も台風シーズンが来ましたが、毎年の経験を生かして被害を最少限度に食い止めます。お互いに協力して気の毒な人の出ない様に助け合ひましょう。台風情報に注意し充分な準備をしておきましょう。

無事故の誓い 一、飲酒運転は絶対いたしません。二、無免許運転は絶対いたしません。三、スピード違反を絶対いたしません。四、以上三つの事は絶対させません。

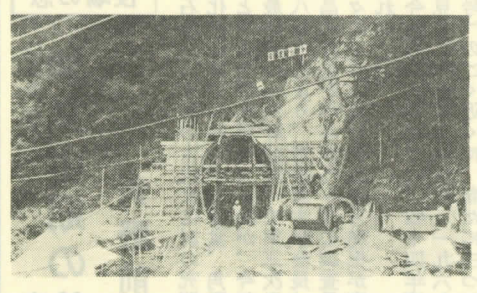
越美北線延長工事

四億三千万円の配分決まる

朝日工区も仕上げの段階へ

◇工事全体で八十五％の完成... ◇本村発展に大きな期待寄せて ◇レールの敷設... ◇長年の悲願達成... 一年後に迫る...

本年度の越美北線延長工事の配分予算が先に四億三千万円と決定した。この待望久しかった越美北線(勝原朝日間)一〇キロ三六米の着工...



朝日トンネル(朝日側)

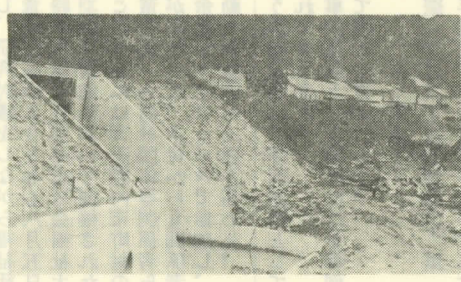
八八八米が総工費二億五千万円で北都組によつて着工されたのを皮切りに荒島附近路盤その他工事(荒島トンネル外)五、二六四米のうち四、一三八米を総工費約十億円で飛鳥建設によつて西勝原より工事を進め、又、大野市と和泉村との境界(通称五里走)附近より横坑二三〇米程掘進し、下山方面に向う一、〇四〇米が総工費約三億一千万円で前田建設によつて行なわれた。この国鉄のローカル線では全国一であり、国鉄全体で全国六番目という長いトンネルが昨年七月九日に見事に貫通した。又、これに引き続き下山附近路盤その他工事(下山トンネル)二、三〇一〇米が総工費約五億九千万円で川田工業、北都組によつて請負われていたが、これらはいずれも完成している。これまで越美北線延長工事一〇、キロ三六米のうち八、六〇六米が完成し工事費において約三十億円(本年度予算を含む)が投入されている。

このほかにまだ発注されていない工事として、スノーセット、落石防止柵等の防災工事、あるいは勝原朝日間の軌道工事、下山駅及び朝日駅に約二百平方メートルの駅舎を建設するなどが残っており、これらの工事等も今秋には発注する予定になつてゐる。こうして長年の悲願であつた越美北線延長工事仕上げの段階に入つており、いよいよ来年度には開通(営業開始)の運びとなる。この開通によつて、村の三大施策である山林資源の開発、地下資源の開発、観光開発等が今後更に充実できるものとして、その期待は大なるものがある。

越美北線の工事進捗状況

全体で八五％の完成

昨年八月板倉朝日間延長一、四三〇米(うちトンネル三、六四米、明り工事一、〇六六米)が総工費一億六千六百万円で飛鳥建設によつて工事が進められてゐることは本紙七月号をまつてお知らせしたとおりであるが、その後工事は順調に進み、現在までにトンネル工事については、両坑口の坑内コンクリートとずい道内の下水コンクリート打設が約一〇〇米のみ残り、九五％の完成を見込んでおり、八月末迄に完成する見込みである。一方、明り工事では、板倉部落裏のコンクリート土留工事と稲山織物KK前の盛土工事を残すのみで、八五％の完成である。又、この工区全体では九〇％の進捗率で、工期も余すところ二ヶ月となり十月末竣工を目指し、最後の追込み中である。



朝日トンネルより朝日駅へ向う盛土

このほかに現在工事が行なわれているのは、第二下山架道橋製作架設工事(国道一五七号線上の鉄橋)が総工費六百万円で春本鉄工所(大阪)によつて工事が進められているのを始め、勝原朝日間に於ける下部バラス製作及び運搬が総工費二千三百万円でセキサ工業(福井)によつて請負われている。これらはいずれも今年末までに完成する予定になつてゐる。尚、越美北線延長工事全体としての工事進捗率は八五％となつてゐる。

九頭竜ダム周辺地

観光開発作定調査

県観光課実施

本年度、県観光課は、当村九頭竜ダム周辺の観光開発をどのように進めてゆくことが将来プラスになるかの計画作定の資料調査に一〇〇万円を計上し八月十二、十三日の両日に互り、第一回の調査を行った。調査団の一行は、県観光課長、近藤係長(造林学)京大名誉教授、関口鉄太郎先生(造園学の大家)京大教授、藤岡謙次郎先生(考古学の権威)東大講師、前野准一郎先生他、中部造園観光研究所のメンバー四名、計八名が村内六個のダム周辺を中心に周辺の景観および、伊勢、久沢面谷の広大な原野、後野、前坂、小谷堂を経由する岐阜県、白鳥、九頭竜ダム観光ルートの効用等、夫々の観点から綿密な調査を行ない、白山系動物の当地への流入、植物の分布、古代文化の残存系列、化石、水石の成生に至るまで調べ、次に水棲動物の実態も併せて考慮してゆきたいとの事、両日の記録、写真等を整理研究して、県へ一次報告を行い、その結果から、第二次第三次の調査を行なう予定との事、調査成果の優良なるよう念願する。



窓の役場

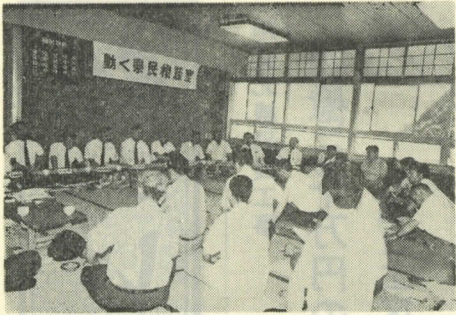
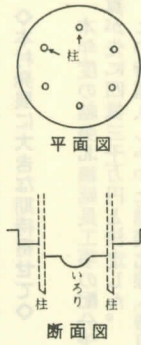
縄文中期の住居跡が三つ

角野前坂で発掘される

石徹白川水系の古代文化財の究明と文化財保護の目的で、小谷堂、角野前坂と調査発掘を続けてきたが、今年度は最終的に「角野前坂」で第三次発掘を八月三日より、若狭考古学会長、森川昌和先生を中心に外十名の調査員の方々により本格的な調査と発掘が実施された。

今回の調査発掘では、四十四年度に発見された堅穴式住居跡（一九六九年一号）のごく近くに、新たに三つの貴重な住居跡を発見（一九七一年二号）四号と名づける）集落として発掘されたのは県下で唯一の貴重なものである

◎二号住居跡、円形で直径が六米、主



「動く県民相談室」の様

な柱は六本で六角形、縄文時代中期（五千年前）のもので七名住い用、新潟北海道の寒い地方から発掘されているものと同じである。

◎三号住居跡、平面の形が不明であるが、明確な七十種方形の「いろり」が発見され、土器片が底に敷きつめられていた。

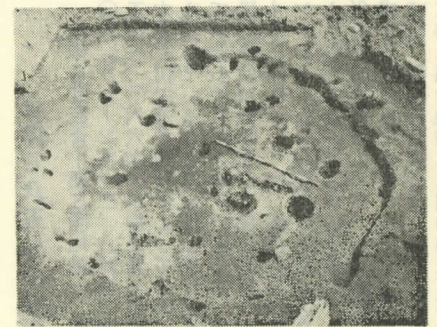
◎四号住居跡、円形で四米の小型、四人住い用、四本の柱ででき、中央に一米四方の巨大な「いろり」があり、土間には小児カメ棺（北陸では未発見で貴重なもの）がうめられていた。

今回の発掘で出土した石器類三十点土器破片五千点、完全に復元できる土器は三点程度である。特に今回の発掘で縄文前期（六千年前）の土器も発見され、六千年前から人が住んでいたことが証明された。住居跡は将来現地で専門家により復元の予定、出土品は復元後民族館に陳列します。

第三次発掘を含めて、今までに考古学研究の上からも大きな成果がありましたが、住居跡があらされないよう村民の手によつて、文化財の保護につとめたいものです。

◎「動く県民相談室」開設する
住民と行政のパイプ役として

県行政のサービス窓口として広く県民の声を聞き、行政に対する要望等の解決を促進して行政事務の向上と住民の行政参加意識の向上を計ることを目的とする「動く県民相談室」が去る七月二十九日午後一時から金森県理事を始め、道路課、観光課、大野土木事務所長ら関係者が出席し、朝日小学校に



角野前坂遺跡 第2号住居地

において開設された。

この「動く県民相談室」は、あらかじめ「相談カード」によつて出された要望等に基づいて行なわれたもので、その主なものとして、国、県道における雪崩、落石など危険箇所の防止施設の設定、あるいは県道上大納一下山線の白山中居神社朝日線の改修及び砂利道の補修、道路管理、又、拡大な山林への造林補助金の増額についてなどが話題の中心となった。これらはいずれも過疎対策へつながるものとして早期実現が期待される。

このほか公害防止対策、鉱山廃坑後の処置、へき地に勤務する教職員の優遇措置、河川管理など意見、要望等が活発にかわされ意義ある「動く県民相談室」であった。

選挙運動を行なう事のできる期間は選挙期日の公示又は告示がなされ、立候補の届出手續を完了し、正式に選挙長が受理した時から、投票日の前日までとなつており、立候補する以前に行

事前運動

選挙運動を行なう事のできる期間は選挙期日の公示又は告示がなされ、立候補の届出手續を完了し、正式に選挙長が受理した時から、投票日の前日までとなつており、立候補する以前に行

才十五回高志地区 社会福祉大会開かれる

福祉活動への意欲の向上

経済成長に伴ない住民の生活は豊かになつたが、その反面新しい福祉問題が次々に起きている。又、それについて住民の福祉に対する要望も高まりその内容も広くなりつつある。こうした現状の中で、更に広い視野に立つて我々の今後の活動方向を明らかにするとともに福祉優先の社会をきりひらくことが強く要望されている。

そこで本年は社会福祉事業法制定二十周年を迎え、これからの諸問題を提起し、研究討議をしながら福祉活動への意欲を高めようとする八月五日午前十時から第十五回高志社会福祉大会が足羽町体育館において開催された。

この大会には高志管内市町村の民生児童委員、各福祉団体等関係者ら四百名が参加した。本村からも関係者ら二十余名がマイクパスで参加し、福祉活動への意欲を一段と高めた。

大会では私の歩んだ道（母子家庭）老人のしあわせについて、老人クラブに入会しての喜び、身体障害者について思うこと、など貴重な体験発表もあり、最後に大会宣言を採択して意義ある大会を終った。

福祉年金 証書の交付

福祉年金の支給にあたり受給権者の前年度分の所得状況届を県に提出し審査を受けることになっていきます。今年も例年のごとく六月に県に提出した結果、本年度の一時支給停止が七件、八三件が全額支給となりました。この支給は九月六日から郵便局において受領できますので、証書返還時に交付した保管証書と印鑑を持参し役場住民課で受け取つて下さい。

- ※ こんなことは違反です ※
- (1) 年賀状、暑中見舞等を多数出すこと
- (2) 立候補しようとしている者が、自分の当選を目的として年賀状や見舞状などこれに類する葉書を多数の選挙人に送付すること。
- (3) 後援会の会員募集
- (4) 立候補予定者の写真、経歴、職歴、政見、あいさつ等掲載した文書を作成し、その端に会員募集のための入
- (5) 会申込書を印刷して戸別に訪問して配布したり郵送したりすること。
- (6) こんな推せん会をすること
- (7) 立候補をしようとする者を当選させる目的で事前に推せんすること
- (8) 部族の役員などが部族会又は団体の総会を招集して役員を推せんしている者を推せんするようにしむけること。
- (9) 事前に投票依頼をすること
- (10) まだ選挙の告示もなく立候補もしていないのに「今度〇〇が立候補するから頼む」と友人や知人に投票依頼すること。

福井県へき地学校

児童・生徒交歓会催される

福井県下の、へき地校の四年生を対象としたへき地児童交歓会が去る八月十七日に県民会館において開催された。この日、二百十名の児童が奥越からも嶺南からも県下各地に配置されたバスで福井市体育館前広場において午前九時三十分集合し、消防署、福井新聞社、県庁、県会議事堂などを見学し、午後は県民会館大ホールにおいて楽しい交歓の集いが開かれた。山の子、海の子の発表あるいは仁愛女子短大生による人形劇などがあつたと一人一人がロソクを手に大ホールを取りまくキャンドルサービスがあり楽しい一日を過ぎた。又、この児童交歓会より先日の日程で県下へき地中学校二年生が百三十二名参加して福井市中央公民館を主会場として開催された。

第一日は酒伊織維、松下電器、日華化学等を見学し、夜はフォークダン



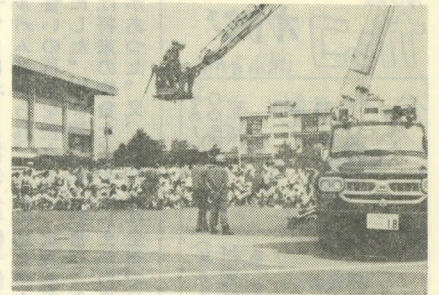
太鼓を披露する昇竜太鼓保存会

昇竜太鼓 大喝采

中日新聞太鼓まつりに出場

去る八月七日、三重県亀山市、中部日本新聞社主催の、日本のリズム太鼓祭りに本村観光紹介を兼ねて出場、当日夜七時から、亀山中学校庭に造られた舞台で開演された。出場太鼓は、亀山市の葛葉太鼓、岐阜県の表佐太鼓、石川県の八幡太鼓、四日市市の諏訪太鼓、福井県の昇竜太鼓の順に披露され、十一時であった。競演会ではなかつたけれど、内心他県のものに劣りたくない。見劣り、聞き劣りでありたくない気持は各県とも同じであったことと推察される。然しその評価は会場に参集した四万人の大衆が決めてくれることで、その反響を見るより外にない。最終番になつて昇竜太鼓のメンバー十名は、最初の葛葉太鼓から順々に片ずを吞んで見つめ、リズムの感覚をかみしめていたことと思う。

いよいよ出番の九時半、一同は小手の舞台上に現れ、由來の口上から、拍手調への青葉太鼓に移る。聞き静まること二分一爆発的な大拍手があらしのように湧き起る。また起る、また拍手！静！動！静！動！と実に大衆の感動は次第に熱気を帯び、本命の昇竜太鼓に移



消防自動車による実技を見る子供たち

るや、拍手と掛声がリズムミカルに会場を動かし「特別賞」など叫ぶ声も聞える等、全くその優秀さを眼のあたり見ることができた。自己満足、独りよがりになり易い郷土芸能も、こうして他県での大衆批判をしつかり胸に刻み自信を持つと共に、一面ここに出席しなかつた更に優秀なものが数多くあることを忘れず、或は出場地域にも恵まれたかも知れない、など自己反省を繰り返し乍ら一層この唯一の郷土芸能は磨きのかかることを切望する。

まちがいやすい印紙税

一万円以上の領収書や、家や土地を扱うときにとりかわされる売買契約書などには、収入印紙をはることになつていきます。収入印紙は、契約書や手形などには収入印紙の証紙のことで、文書を作つた人が決められた金額の印紙をはり、自分の印鑑か、署名で消印する。この印紙税を納めたことになり、またこの印紙税の納めた文書は、種類がたぐさあり、また同じ種類の文書でも記載されている金額によつて、印紙税額が違ふことがあります。そのため印紙をはり忘れたり、金額の違う印紙を

はつたりするともよくあるようです。たとえば、印紙税を納めなければならぬ文書に収入印紙を貼らなかつたり一〇〇円の収入印紙が必要な場合に二〇円しかはつてないような場合、または収入印紙をはつても消印をしなければならぬときに、最低でも五〇〇円の余分な過怠税を納めなくてはなりませんので注意して下さい。印紙をはらなければならぬ文書かどうか、またいくらかの印紙をはつたらよいかなど、わからないことは遠慮なく税務課又は税務署におたずね下さい。

人のうごき

【出生】
後野 三嶋憲雄 哲一 式男
【婚姻】
下山 嶋 久美
大野市 横田 一夫
上大納 尾崎 輝子
上大納 磯谷 充也
岐阜県可児郡
【死亡】
角野前坂 上村きく 八五才
上大納 石山正則 一六才

自転車の無料

点検修理に感謝

夏の交通安全運動の実施期間中である去る八月二日大野市自転車商組合より三名の方が本村を訪れ、小中学校児童生徒が毎日使用している自転車(欠陥車)を一日無料で修理して下さいました。この日午前中は朝日中学校前で午後には中竜会館前において、それぞれ修理が行なわれ、中にはかなりの欠陥車もあり、部品の取り替えをするなど約二百台の自転車が修理点検された。又、修理を終えた自転車には点検済のステッカーが貼れた。こうした自転車商組合の方々の好意にこうしたええべく、自転車の正しいのり方を身につけ事故のない安全な毎日がおくれるよう努めたいものです。

非常事態にそなえ交通指導

「月おくれの旧盆に都会脱出をはかる人々は、車でどつとふるさとへ向つたが十三日の交通事故死者は、ことし最悪を記録した……」

去る十五日の各新聞は、交通事故の記事でうめつた。本村においても十四日から十七日にかけて、各方面からマイカーが「ドッ」とつめかけ、事故発生の危険を含んだ旧盆の三日間であつた。安全協会では、こうした非常事態にそなえ街頭での交通指導を行ない、暴走運転、過労運転、飲酒運転など無謀運転の防止につとめた。不幸にして「交通事故ゼロ」を期することは出来なかつたが、全村的には事故発生件数も少なく安全運転のうちに旧盆中の非常事態を脱し、夏の交通安全県民運動月間をおえた。

郵便局だより

郵便物の事故はすぐ郵便局へ郵便物が届かないとか、中身がたりないなどの事故があつた場合は、すぐにもよりの郵便局へお申し出下さい。郵便局には「郵便物事故申告の制度」がありまして郵便物が届かない等の事故が発生した場合に申し出により郵便物の差し出されたところから配達先までの取扱いの模様を郵便物運送の経路順に調査して回答申し上げます。申告事務の担当者には郵便の仕事に精通した職員を指定してご相談や調査にあたらせておりますので「普通郵便」だからと言う事であきらめたり、おつくりがたりしない、また「うつかう普通郵便に現金を入れた」からといって罰せられるような事はありませんからお気軽にお申し出ください。

中竜鉾山郵便局
下穴馬郵便局